



高志台

NAGAOKA NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

学園だより

Vol.180
2013. 12. 16 発行

CONTENTS

02-03 … 木工祭

04-05 … 学生海外派遣研修報告

06-07 … 企業実習

08-09 … 見学旅行

10-11 … 卒業後の進路を考える後輩諸君へ

12-13 … 専攻科だより

14 … 部活動報告

15-16 … トピックス

★ 高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“このくに”(越の国・古志の国・高志の国)と呼ばれていました。

学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台(こうしだい)」と命名しました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

Nagaoka National College of Technology

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

長岡工業高等専門学校 2013 未工祭

未工祭を終えて

学園祭実行委員長 物質工学科4年 星 啓佑

2日間にわたって行われた学園祭も終わり、後片付けも済み、ようやく普段の学校生活が戻ってきたように感じます。今年度の未工祭もいくつかのトラブルはありましたが、ほとんどの高専生が楽しめたものになったのではないかと思います。

僕は今年度の未工祭で実行委員長を務めさせていただきました。正直なところ、最初は「学園祭実行委員長」という仕事を軽く見ていました。

昨年度は一応、学園祭実行副委員長をやらせていただいていたのですが、ほとんどのところを昨年度の委員長がやっていて僕自身は言われたことだけをやり、委員長の後ろをついて回るだけでした。

そんな状態でしたので、今年度が始まってとりあえず形式上やらなければいけない仕事だけをして、あとは特に何もしてないような有様でした。ですが副委員長の阿部君や各セクションの頭たちががんばってくれたおかげで何とか準備までたどり着き、未工祭を迎えることができました。ほんとうに阿部君や各セクションの方たちに頭が上がりません。

そして今年度の未工祭で一番心に残っているのは、やはり最終日最後の企画の花火です。昨年度は花火職人の方と連絡をとって花火をあげるという仕事を任されていた。しかし、残念ながら悪天候で花火を打ち上げることができませんでした。それが少し僕の心残りでした。今年度は1つ下の後輩にその仕事をまかせ、最終日はまたも雨でしたが職人の方たちに花火を上げていただきました。その花火をみて今年度も無事未工祭を終わらせることができた実感しました。

今年度の未工祭を形作り、準備から終わりまでもてくることができたのは、先ほども言ったように副委員長の阿部君、各セクションの頭の方々、先生方に地域の方々、そして何より高専生一人ひとりが今年度の未工祭を楽しもう！楽しませよう！成功させよう！とがんばってくれたおかげだと思います。当日のLIVEや演劇などの企画を見てそれを感じさせてもらうことができました。来年度は3年に1度の高志祭です。今年以上にたくさん的高専生が楽しめる学園祭になることを祈っています。



実行委員長 開会式あいさつ



美術部展示



吹奏楽部 演奏



書道部展示



デザイン部展示



ダンス同好会

学園祭に来てくれたすべての人に、ありがとう

学園祭実行副委員長 電子制御工学科4年 阿部 凌磨

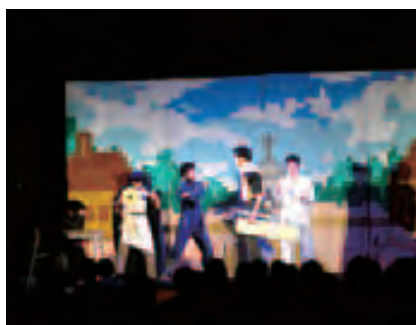
初めまして。学園祭実行副委員長の阿部と申します。副委員長なので特にこれといってなにもしていませんが、せっかく原稿依頼が来たので学園祭について語らせていただきたいと思います。

みなさん学園祭は楽しんでいただけましたか？当日だけではなく、それに向けての準備を楽しんだ方も、また面倒に感じていた方もいるかと思います。楽しめた方は来年の学園祭をものすごく楽しみに待っていきましょう。今から演劇練習をしたり、コスプレするなどして準備を始めていいと思います。楽しめなかった方は、来年の学園祭を全力で参加して楽しみましょう。今年は例年通りの未工祭でした。私は当日まで相当不安でした。『今年の学園祭絶対やばい。どうにかなるとかならないとかそういうレベルじゃない。』学園祭までの数か月間は、こんなことを考えながら日々を過ごしていました。しかしそんな心配は無用でした。今年の学園祭は大いに盛り上がったと思います。

各企画、セクションの頭の方々や、演劇、ライブ、クラス企画、個人企画などなどなど、学園祭に積極的に参加してくれたみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。来年はなんと3年に1度の高志祭です！1年生はわからないかもしれませんが高志祭はなんと学園祭が3日間になります。普段の50%増しです。今年より企画の数も増えるでしょうし、モチベーションも上がると思います。盛大に楽しみましょう！

繰り返しになりますが、学園祭実行委員長の星君、各セクション・企画の頭の方、学園祭に参加してくださったすべての方に心から感謝します。

ほんとうにありがとうございました！！



機械工学科 演劇



電気電子システム工学科 演劇



物質工学科 演劇



環境都市工学科 演劇

長岡高専名物学科対抗演劇

結果

総合	1位	電子制御工学科	役者	1位	電子制御工学科5年	松戸 裕之
	2位	環境都市工学科		2位	物質工学科1年	枝村 紅依
	3位	物質工学科		3位	電気電子システム工学科1年	戸倉 和生
脚本		物質工学科		3位	電子制御工学科5年	樋口 悠生
演技		電子制御工学科		3位	環境都市工学科3年	浅間 美萌沙
道具		環境都市工学科				
音響		電子制御工学科				
照明		環境都市工学科				

— 平成25年度学生海外派遣研修 —

ベトナム (平成 25 年 9 月 11 日～17 日) 12 名

平成 25 年度学生海外派遣研修（ベトナム）を学生 12 名と引率教員 2 名の合計 14 名で実施しました。

研修はハノイとフエの 2 都市で行い、参加学生の異文化への視野の拡大と、異言語コミュニケーションへの認識と意欲の養成を目的としました。主な行事として、ハノイでは学生の技術研修と交流、工場見学、民俗博物館見学を、フエでは学生間の文化交流、王宮見学、NPO 見学を実施しました。

ハノイでは日系企業の日本精機(株)ハノイ工場を訪問し、海外生産の実情を学びました。同社の社長から、企業の概要を説明していただき、工場を案内していただきました。社長はトレーニングを受け入れ可能であるといっておられました。また、ハノイコミュニティカレッジ (HCC) の学生とのライントレースロボット製作とタイムレースを実施し交流しました。この競技会では、HCC の学生と長岡高専生との混成チームを 6 班作成し、各チームで既定のコースを 3 回トライして時間を競いあいました。本校の学生は技術上の説明のため、苦勞して意思疎通の工夫をしました。この他にハノイ市内の民俗学博物館を見学し、バッチャン村を訪れ焼き物工程の見学をしました。

フエでは、フエ外国語大学日本語学科の学生と、自校紹介と自己紹介、アイスブレイキングや歌・落語やゲームを工夫してコミュニケーションを上手に成立させるなど、日越の文化交流事業をおこないました。また、フエ外国語大学の学生の案内でフエ市内の旧グエン朝の王宮探訪などの文化探訪を行いました。フエホープセンターという職業訓練の NPO を訪問して、当地の社会開発の状況を学びました。これらの行事の前後にフエ外国語大学の学生と、顔合わせ会、反省会、お別れ会を設定して交流の準備をしました。これらにより 2 泊 3 日の間、日越の学生同士親しくまた楽しく交流できました。

意義深く充実した研修内容で、ベトナムを再度訪問したくなる、思い出深い研修でした。



1. 日本精機(株)ハノイ工場訪問



2. HCC にてのライントレースロボットによるタイムレース



3. フエ外国語大学日本語学科との文化交流・自校紹介

タイ+韓国 (平成 25 年 8 月 27 日～9 月 3 日) 11 名

参加者 11 名 + 引率 2 名でタイ及び乗継ぎ時間に韓国を訪問する海外学生派遣研修を行いました。恒例行事となっているものの、毎年嗜好を変え様々な場所や交流を用意しています。詳しい研修内容は、電気電子システム工学科 HP にも掲載されています。本校初の海外研修がインターンシップ単位化され、一週間の事前研修、派遣先の泰日工業大学 (TNI) での携帯電話を使ったライントレースのロボットレースコンテスト、日系企業 2 社 (セイコープレジジョンタイランド(株)、(株)ソディックタイ工場) の工場見学を行い 2 単位となります。コンテストには、携帯電話や組み込みボード Arduino のプログラム、マシン作成が含まれるため、4 年生以上を対象とした研修です。TNI では、コンピュータエンジニアリング学科の学生との混合チームでコンテストを行いました。初日に開催された歓迎会がアイスブレイキングとなり、3 日目の本番に向け、同じ目標に向かっての活動は大変良い交流となりました。さらに、TNI の学生と夕食会、カラオケやショッピングと楽しい時間を過ごしました。出国時には、みんなで空港まで見送りに行ってくれるサプライズもあり感動しました。

さて、わが国の方針に留学生受入れ及び派遣で30万人を目指す計画があり、大学、高校そして中学まで、修学旅行で海外訪問等、国際化を目指した活動が活発になされています。

私達は、国際化や海外を見て来ることに何を求めるべきなのでしょうか？日本にいただけでは駄目なのでしょうか？「闇雲に海外に行って日本人らしからぬ日本人を作っている」と国際化の動きに否定的な意見を聞くこともあります。しかし、私は初めて海外に行ったとき海外のすばらしさに感動し、また日本の良さを再確認できました。海外に行くことで自分の中で何かが変わったと思いますが、本質までが変わったわけではありません。物事を大きく捉えることができるようになった。そういった方が良いかもしれません。今回の訪問先企業で日本人技術者から言われた言葉が大変印象的でした。「タイに来て、日本との違いにびっくりするかも知れませんが、タイが違うのではなく、日本が特殊な国なのですよ。」日本人として海外に目を向ける、エンジニアを目指す皆さんにぜひそうしていただきたいと思います。



シンガポール (平成25年8月18日～23日) 12名

平成25年度学生海外派遣研修(シンガポール)は、12名の学生(2年生7人、3年生3人、4年生2人)が参加し、2名の教員が引率しました。参加した理由は様々で、海外から日本をみて国際間の違いをみたい、本物の英語を学んでみたい、シンガポールは治安が良い等でした。

研修としてシンガポール国立大学、南洋理工大學、リパブリック・ポリテク、バイオポリス、フュージョンポリス等のたくさんの教育研究機関の見学を行いました。各機関ともに施設の広さや最新の設備にみんなびっくりしました。英語による現地の方の案内や交流を通して、英語力(特に発音)の必要性を肌で感じました。特に誰も通訳ができない状況に追い込まれた際、相手が一生懸命質問を投げかけてくれましたが、それに応えることができず苦い思いもしました。一方、同じ年頃の学生との交流では、日本のアニメ等共通する話題があり、すぐに打ち解けることができました。文化探訪として、アラブ街のモスクのてっぺんの飾りに見惚れ、高層ビル等の建物と自然が両立している中で多民族が英語で会話している様に圧倒されました。その他にも、マリーナ・バレージでシンガポールの水事情について学び、マーライオン公園、マリーナベイサンズやナイトサファリ等の施設を訪れました。最終日は、セントーサ島で班毎に自由行動を行いました。

研修を通して、多くのことを皆それぞれに学びました。例えば、まだ明確な夢はないが今はできるだけ多くの分野を学ぶといった目標ができたこと、多民族国家において相手の宗教を尊重することが大事なこと、資源が少ない日本ではシンガポール同様に人材育成が大事であり私達がこれからの日本を支えていく立場にあるためたくさん勉強しなければならないこと等です。





企業実習

第4学年では、夏季休業期間中に実施する選択科目として「企業実習」を開講しています。この科目では、本校が定める受け入れ企業および機関において、1週間から2週間までの期間に、生産・技術等の就業体験を通じて、実践的な技術感覚を体得させるとともに、技術者として必要な人間性の形成を図ることを目的としています。

企業実習受け入れ企業・機関一覧

■ 機械工学科 (27社)

株式会社IHI 検査計測, 旭カーボン株式会社, 朝日酒造株式会社, 株式会社アドテックエンジニアリング, 有限会社エヌ・テック, 株式会社オーエム製作所, 国際石油開発帝石株式会社 (2名), 株式会社コロナ, 佐藤農園 (3名), 三恵技研工業株式会社, 株式会社鈴民精密工業所, テラノ精工株式会社 (2名), 東燃ゼネラル石油株式会社/東燃化学合同会社, 長岡技術科学大学, 長岡電子株式会社, 株式会社長岡歯車製作所, 新潟原動機株式会社, 新潟造船株式会社, 日本フローサーブ株式会社, パナソニック株式会社エグゾリュージョンズ社 (2名), 株式会社広井工機, 富士通フロンテック株式会社, 放射線利用振興協会, 三菱瓦斯化学株式会社, 山崎醸造株式会社, 株式会社リケン (2名), 理研精機株式会社

■ 電気電子システム工学科 (9社)

一般財団法人東北電気保安協会 (2名), 開発電子技術株式会社, 株式会社兼古製作所, 黒部川電力株式会社 (2名), COM電子開発株式会社, 佐藤農園, 三恵技研工業株式会社 (2名), 新潟造船株式会社, 株式会社羽生田製作所

■ 物質工学科 (12社)

旭化成株式会社, 株式会社いすゞ製作所, 越後製菓株式会社, 株式会社クラレ, 佐藤農園, ダイキン工業株式会社, 東燃ゼネラル石油株式会社/東燃化学合同会社, 新潟県工業技術総合研究所中越技術支援センター, 新潟県農業総合研究所食品研究センター (2名), 北陸ガス株式会社, マサル工業株式会社, 株式会社雪国まいたけ

■ 電子制御工学科 (8社)

株式会社兼古製作所, 久保誠電気興業株式会社, 株式会社ジェイマックソフト, 日本電気計器検定所, ニューロン精密工業株式会社, 株式会社ブルボン, 株式会社北越電研, 北陸ガス株式会社

■ 環境都市工学科 (12社)

越後交通工業株式会社, 株式会社大石組 (3名), 大原技術株式会社, オムニ技研株式会社, 株式会社キタック, 国土交通省北陸地方整備局 (5名), 株式会社ダイアテック (2名), 高橋調査設計株式会社, 新潟県土木部 (2名), 新潟市役所, 東日本高速道路株式会社, 北陸ガス株式会社



働くということ

機械工学科 海野 礼央

私は長岡電子株式会社に実習に行ってきました。長岡電子は主に金属部品に焼き入れを行う会社で、私は焼き入れの種類や特性について学びながら中小企業はどのような職場で、どのような仕事をしているのかということを重点的に見てきました。そもそも私が企業実習に参加しようと考えたのは、将来就職する際に中小企業に入るのかそれとも大手企業を狙うのかを大まかにでも考えておく必要があると思ったからです。

まず、社風としては人数が18人と少なく、社員全員がつながっている暖かい職場というイメージがありました。

昼食は社長も社員と一緒に食べ、その際に社長とも話をしていました。大企業ではまず無理なことだと思います。

次に仕事の内容ですが、ほぼ一日中材料を図面どおりに焼入れし、それを検査するだけでした。仕事内容自体はかなり単調なもので、これを一生の仕事にするのはかなり忍耐力がいると思いました。また、職場の人の生の声を実際に聞くことができたため、とても有意義な時間になりました。

こうして企業実習を終えてみると、やはり実際に触れてみてわかったことが多いと思います。われわれ機械工学科は地元の中小企業に就職する人が少ないため、こういった機会に積極的に参加することはとても大切なことだと思います。良い面も悪い面も知っておくためにも是非企業実習に参加することをオススメします。



企業実習を終えて

電気電子システム工学科 土田 敏之

私は今回、三条市にある株式会社兼古製作所に企業実習で5日間お世話になりました。こちらの企業はANEXブランドのドライバーやレンチ、ビットなどの工具の製造を行っています。実習の主な内容はプラスドライバー、マイナスドライバー、Wビットの製造の体験です。

私が企業実習に参加した理由の1つは、会社の雰囲気はどのようなものか知りたかったからです。企業実習に

行くまではとても緊張していました。しかし、休憩時間中に社員の方が楽しそうに話をして、作業時間中は上司の方が部下の方を信頼して機械を任せているのを見て、その緊張はすぐにほぐれました。また、1本のドライバーを作るのにも金属加工、焼き入れ、成形などの作業がありますが、これらを行う部署一つ一つの連携はもちろん、部署間のチームワークも大切であると感じました。

実習中、品質管理の為にドライバーの硬度を測定しました。長く使えて高品質のものを作ることはものづくりにおいてとても重要なことです。そして、その商品を手に入る方のために丁寧な作業を行い、できるだけ良いものを提供する、この精神が仕事においてとても大切な事

なのだと思います。

知るためには自分の目で実際に見るのが一番だと思います。これから企業実習に行く機会のある方は、気にな

る企業がある、どのような雰囲気か知りたいなど、思ったのであるなら企業実習に参加することをお勧めします。



企業実習を終えて

電子制御工学科 鈴木 拓海



私は企業実習として日本電気計器検定所（JEMIC）に訪問させていただきました。5日間という短い時間の中ではありませんでしたが、とても多くのものを学ぶことが出来たと思っています。

まず、社会で働く際に生じる責任の大きさを実感できました。実習に入るまでJEMICの業務内容を詳しく知りませんでしたが、実際は電気メーターが正しく動作しているかを検定する業務を行っています。これは電気会社と一般家庭、企業といった電気消費者との間をつなげる重要な仕事です。このことに関して実習当初はあまり意識していませんでしたが、実習が進んで

いき、職員の方の仕事に取り組む姿勢や業務内容の徹底ぶりから、責任の一端を意識しただけでしたがとても社会的責任の重い仕事であるということを実感することができました。

また、学校で学習した内容を用いている部分を間近で体験できたことも大きな収穫でした。今まで理論を勉強してはいても、それがどのように使われているかはあまり意識していませんでした。しかし、実際に電気関係の理論を利用している場面をみることで、勉強への理解度とモチベーションを上げることができました。

企業実習は、普段の学校生活では学ぶことの出来ないことを学び、視野を広げるのにとっても有意義です。就職を考えている人はもちろん、そうでない人も参加して損はないと断言することができます。機会があれば積極的に参加してみてください。



企業実習を終えて

物質工学科 繁原 敬浩



私は8月19日から23日の5日間、旭化成ファーマ株式会社の診断薬製品部の診断薬開発研究グループで実習しました。こちらのグループでは臨床検査で使用される体外診断用医薬品の原料・キット製品の製造販売

を行っています。

実習内容は「電気化学的な血糖値測定の基礎検討」というテーマでした。このテーマに沿って実験やレポート作成などを行いました。

実習全体を通して感じたことは社内の雰囲気が良かったところです。私のイメージでは堅苦しく、社員同士の

年齢差が学校よりも大きいため上下関係がより厳しいのではないかと感じていました。しかし、現場を見ると部署や年齢差が異なっても話の内容に関わらず、親身になって会話されている姿が多く見られ、非常に刺激的な体験が出来ました。

また、今回、指導社員の方々がサポートする体制であったため、実験の反応経路や仕組みを理解することが出来ました。反面、社会に出ると自分で考えて行動・判断しなければいけないことを考えると自分の知識の不足を改めて感じました。

最初は企業実習を行う貴重な体験が出来るという軽い気持ちで応募しましたが、実際に実習を通して相手とのコミュニケーションの大切さや自分が持つ責任の大きさなど、社会に出て必要不可欠なことを身近に体験できる非常に良い経験が出来たと思います。



企業実習で得たもの

環境都市工学科 丸山 純



私は、新潟市にある株式会社ダイアテックで5日間の実習に行ってきました。現場に出て橋梁点検の様子を間近で見学したり、点検結果を報告書にまとめたり、また、普段学校では習わないような橋梁についての学習などが主

な実習内容でした。普段滅多に目にすることのない橋の裏側を見ることが出来たり、専用のソフトを用いて点検結果をまとめたりと、非常に貴重な経験をたくさんさせていただきました。職場の雰囲気も良く、とても親切的な

方ばかりで楽しく実習を行うことが出来ました。

実習の中では授業で習った内容も多く出てきた一方、全く分からないこと、初めて聞くような専門用語なども多くあり、自分の勉強不足を強く感じました。普段の勉強が社会に出てどう役に立つのか、また、いかに大切な、身をもって知ることができました。

今回の実習を通して、この業界の仕事の奥の深さが改めてよく分かりました。学校の授業だけでは分からない世界を自分の目で見ることは非常に大きな成果だったと思います。また、普段の学校生活や勉強に対する意識を根本から見直す良い機会にもなりました。この実習で学んだことをこれからの学校生活、そして、社会に出ても生かすことができたらいいと思います。



第4学年見学旅行

(平成25年9月25日(水)～28日(土))

見学旅行は、国内の最新の技術や設備のある工場や研究所等見学し、専門の知識を豊かにするとともに、文化 財、名所旧跡を訪ね日本の伝統と文化を学び、技術者としてバランスのとれた成長を促すことを目的とした教育 活動の一環として、4年次に行われるものです。

見学先一覧

機械工学科：群馬・東京・神奈川

富士重工業群馬製作所
東京スカイツリー
大田区産業プラザP i o (大田区企業訪問)
三菱みなとみらい技術館

物質工学科：北海道

旭山動物園、ノーザンホースパーク
白い恋人パーク

電気電子システム工学科：福井・京都・大阪

日本原子力研究機構 (もんじゅ)
敦賀原子力館
関西光化学研究所
南海電鉄千代田工場

環境都市工学科：宮城・北海道

宮城県巨野町震災復興語り部プログラム参加
宮城県名取市閑上地区・日和山見学
白鳥大橋記念館、有珠山・西山火口展望台

電子制御工学科：茨城・東京

サイエンス・スクエアつくば
JAXA筑波
サイバーダイナミクス
マイクロソフト
読売新聞本社
ソニーエクスプローラーサイエンス
東京スカイツリー
日本航空機体整備工場



見学旅行はこんなんだった

機械工学科 下條 恭

初日は車の製造をしている富士重工で工場見学、東京スカイツリーの内部見学をしました。富士重工では工場見学の中で鉄板と部品から新車が出ていく過程を見て感動し、スカイツリーでは地上350mから見下ろす夜の東京を楽しみました。

2日目は東京都太田区の中小企業、ヤシマ・クライムワークス・マテリアル3社において企業見学をさせて頂きました。特に印象に残っているのは、冬季五輪種目ボブスレーの車体・下町ボブスレーの製作の立役者(株)マテリアルの細貝社長による講演でした。

3日目は自由研修、横浜中華街の重慶飯店での夕食、貸切クルーザーで横浜、川崎、東京湾を巡航し工場夜景を楽しむ等、楽しい一日でした。

最終日の4日目は港の見える丘公園や三菱みなとみらい技術館等を観光しました。公園からの眺めも、技術館での科学・物理の仕組みを遊び感覚で分かりやすく知れる点もとても良いものでした。今回の研修旅行の楽しかった事も学んだことも、今後自分の宝になると思える4日間でした。



三泊四日・関西の旅

電気電子システム工学科 齋藤 雅也

1日目は高速増殖炉もんじゅと敦賀原子力館へ、2日目は関西光化学研究所と南海電鉄・千代田工場へ企業訪問してきました。3日目は班ごとに大阪や京都市内へ、4日目は全員で大阪城へ観光に行ってきました。

1日目は、高速増殖炉というあまり馴染みのない施設や、福井県にある原子力発電所の現状やさらなる発展計画について説明をしていただき、日本のエネルギー事情について詳しく知ることが出来ました。

2日目は、研究所と工場というタイプの異なる職場の、双方の業務内容や作業現場を知ることができ、進路を考える上でとてもためになる経験が出来ました。

3・4日目は、私の班は通天閣などの観光名所を巡っ

たり、たこ焼きなどの大阪名物を食べたりして、大阪という街を友達と一緒に楽しんできました。

今回の旅行は、就職について改めて考える良いきっかけになりました。自分の仕事に誇りと責任を持っている社員の方々を見て、身が引き締まるような思いがしました。また、それだけでなく、クラスの仲間たちとする旅行はとても楽しいもので、一生の思い出になりました。





見学旅行を終えて

電子制御工学科 梶澤 優希

初日から、サイバーダイン社など3か所を見学するというハードなスケジュールになっていて、予定の遅れなどが出ましたが貴重な体験をすることができました。2日目はマイクロソフト社、読売新聞社等を見学するという、初日と同じくらい忙しいスケジュールでした。3日目は自由行動でそれぞれが思い思いの場所へ行き、4日目にはスカイツリーとJAL 機体整備工場を見学しました。

これらの中で、私の中で特に印象に残った見学先は、2つあります。1つ目はサイバーダイン社で、実際に作られているパワードスーツを使わせてもらい、この技術がどんな人のためになるのか?といったことなどを教えてもらいました。講義だけでなく実際に製品に触れて確

かめてみることでより深く学ぶことができたと思います。

2つ目はマイクロソフト社で、社員の方から講義していただきました。講義の中で、マイクロソフト社が考えている未来像を伺って、物を作成するときにはオリジナリティ、独創性が重要ということを強く実感しました。

この旅行を通して学んだことを、今後の卒業研究や、進路に役立てて行きたいと思います。



見学旅行

物質工学科 佐野 友美

旅行中訪れた主な場所は、旭山動物園、美術館3館、小樽、白い恋人パーク、有珠山、洞爺湖、ノーザンホースパークです。特に旭山動物園と白い恋人パークは印象に深く残っています。

旭山動物園は、旭川市の斜面に位置する動物園で、それほど広くない土地に多くの動物を有しています。それぞれの動物の習性を利用した展示方法をとっており、来園者を楽しませてくれます。1つの水槽を上下から見られるようにすることで上から見るだけではわからない部分を知ることができました。

白い恋人パークでは北海道の定番お土産 白い恋人 の製造過程を見学しました。通路から見学するシステムで、通路の途中には製造過程の温度を体感できる壁もありました。このパークは工場のみではなく、チョコレートの歴史や、古い食器、懐かしのおもちゃなど多くの種類の

多くのものが展示されています。外には小さい家などもあり、見るだけでなく体感して楽しめるパークとなっています。もちろんパーク内の売店ではいろいろなサイズの白い恋人や、限定のお菓子が売られているため、お土産もじっくり吟味できます。

見学旅行では、普段とは違う土地、環境に団体で行くことでそれぞれ考えることがあったと思います。限られた時間の中でしたが、多くの観光地を訪れることができ、とても有意義で思い出に残る旅行となりました。



見学旅行

環境都市工学科 高野 勇輝

初日は、宮城県の亶理町にて東日本大震災の被災地見学をさせていただきました。そこで見たのは、奇跡的に残っているわずかな建物と住宅の基礎だけが残っていて雑草の処理が行き届いていない土地でした。実際に自分の目で被災地を見ると、その被害の甚大さに言葉が出ませんでした。東北地方の復興は終わっていないと改めて思い知らされました。同時に何か使命感に駆られるような気持ちになったのを覚えています。その後、仙台港からフェリーで北海道に向かいました。

札幌の自由行動で印象深かったのは、北海道庁旧本庁舎と札幌テレビ塔です。北海道庁旧本庁舎は赤レンガの外壁で西洋的な作りになっていて、高層ビルが多い街の

中で異質な雰囲気を出していました。そして、札幌テレビ塔からみた夜景は絶景の一言。札幌の中心から街が一望できとても綺麗でした。また、小樽で食べた海鮮丼など北海道の食べ物はどれも美味しかったです。

この見学旅行で、環境都市工学は人を守る大切な役割を持っていると再認識できました。この4日間の体験を大切にして残りの高専生活を頑張っていきたいと思います。



卒業後の進路を考える

後輩諸君へ



進学・就職を控える皆さんへ

機械工学科5年 辻本 竜太

4年生の皆さん、そろそろ卒業後の進路について真剣に考え、行動を始めている時期だと思います。また1, 2, 3年生の皆さんにとっても、今から考えるのは早すぎるなんてことはありません。私は千葉大学への編入学という進路を選んだので、ここでは主に進学について述べることにします。

まず、進路の選択については誰もが悩むことでしょう。就職か進学か、またどの大学を受験するのか、選択肢の多い編入学だからこそ考えがまとまらない方も少なくありません。私も願書提出期限の間際まで、どの大学を第1志望にするか悩んでいました。そんな方はとにかく情報を集めてみて下さい。大学の資料等はもちろんですが、それよりも大切なのは先生方や先輩方から直接話を伺うことだと、私は考えています。紙面やウェブからの情報より、有意義な話を聞けることと思います。そうして集めた情報から早い時期に志望進路を決めることで、比較の余裕をもって対策を講じることができるでしょう。

では志望校を決定した皆さん、次は入学試験に向けた準備です。先輩方が残して下さった受験報告書もありますし、また直接話を伺うなどして、それぞれの大学別にご自身でよく考えて対策を立てて下さい。ですが共通して言えることは、辛くても最後まで怠けないことです。当然の事のように思えますが、これが一番難しい事だと感じます。息抜きも大切ですが、怠けている時間が長いほど挽回に苦労するでしょう。

以上、具体的な助言ができず申し訳ありませんが、進学・就職を控える皆さんにとって少しでも参考になれば幸いです。余談ですが、進路が決まったからといって遊び呆けていると卒業まで危うくなるので十分気をつけましょう。



「自分のこれからを考える」

電気電子システム工学科5年 内藤 雄太

自分はこれからどのようなことをして生きていくのか、その中で何がしたいのか。普段、人間だれしもが知らず知らずのうち判断していることだと思います。ですが、高専を卒業してその後どうするかという判断をするときには、普段のそれより大きくのしかかってきます。私がこれを経験し、もっとこうするべきだった、こうしたらもっとよかったのかもしれないということを伝えたいと思います。

まず1つ、「自分がどんな人間なのか把握する」。これは就職、進学どちらでも共通して必要なことだと思います。自分の短所、長所は？これまで何をしてきたのか？そして高専卒業後、何がしたいのか？これらは自分を売り出す上で把握していなければならないことです。把握し、かつこれに自信を持てるようにしておく。最重要といっても過言ではないくらいです。しかし、これをいきなりやれと言われてもほとんどの人はできません。ではどうするべきか。

それはもう1つの伝えたいことにつながっています。

そのもう1つの伝えたいことは「素早い行動と判断」です。進路を決めるのに遅すぎることはあっても早すぎることはありません。就職（推薦）の面では高専の卒業生というのはそれだけで引く手数多です。自分は決められるか心配だな、と思う人は今この瞬間考え始めてもいいくらいです。後悔するよりは自分で悩みすぎかな？と思うくらい悩んだ方がいいと思います。自分を把握するのに時間もかかります。早い時期からたくさん自問自答して下さい。最後に1つ。「これでいいかの精神」より「こうしたいの精神」を大切に。これを軸にこれからを考えてほしいと思います。



大学編入を考えている後輩へ

電子制御工学科5年 仲野 友規



高専生の卒業後の進路としては、就職か進学がありますが、電子制御工学科は特に進学率が高く、私も来年度から筑波大学の情報学群・情報科学類に進学します。そこで、大学編入しようと考えている皆さんに、少しアドバイスをさせていただきます。

私は、昨年学園祭が終わったこのくらいの時期から大学編入の勉強を始めた記憶があります。この文章を読んでいる4年生で、まだ始めていない人は、もう始めたほうがいいと思います。勉強法はいろいろありますが、出題傾向の分析は大切です。範囲は同じでも、大学によって出題内容にかなり差があります。過去問を見たり、その大学を受験した先輩に聞くのもいいでしょう。ただし、過信は禁物です。自分が受験する年に変わることがあるかもしれません。志望大学以外の過去問も重宝しました。いろいろな問題を解き、引き出しを増やしておくことが重要です。

また、最近はTOEICのスコアを英語の試験の代わりとする大学が増えてきました。実施回数はあまり多くはないので、自分の志望大学の受験に必要なであれば、早めに勉強を始め受験しましょう。

面接も殆どの大学で実施されます。私はあまり練習していかなかったので、答えられなかった質問もいくつかありました。過去の質問内容等を調べ、先生や友達などと練習するといいいでしょう。

大学編入のための勉強は、勉強を始める時期にもよりますが、とても長く辛いものです。モチベーション維持は大変だと思います。その分、合格した時の喜びは、何ものにも代えがたいものがあります。この文章が、少しでも皆さんのお役に立てたら幸いです。



卒業後の進路を考える後輩諸君へ

物質工学科5年 味方 陵



自分にとって魅力的な研究を今後も続けていきたいという理由から、私は専攻科へ進学することを決めました。最終的に就職することを考えれば、自分の就

きたい職種に高専卒の時点で就職できれば問題ないと思います。ではなぜあえて進学を選択するのか？「〇〇大学で研究がしたい」、「よりよい就職先を見つけるために進学したい」など理由は人それぞれですが、この進学する理由がうやむやな場合、受験に対するモチベーションがなかなか上がらず直前になって受験勉強を始めるというケースが多くなるように見受けられます。そのため進路に対する十分すぎるほどのリサーチが必要となります。ここしかないと思えて納得できるような進路先を見つけ出してください。進路先のリサーチに関しては1年生の段階から始めても早すぎるということはないので、早めの準備を心がけてください。

また受験勉強は、実際は受験までに受けた授業の復習なので、定期試験の勉強を疎かにしていいはずがなく、むしろ1年生から毎回テストに全力を尽くしていれば、それだけ他の人に比べて有利に受験勉強を進めることができると言えます。私はそのことに3年次に気付いたため、それからはテストに本腰を入れて勉強するようになりましたが、1・2年の受験勉強の基礎となる部分が抜け落ちていたため、受験勉強を始めた時に苦労しました。とは言っても、急にガリガリと勉強するのは難しいと思います。そういうときは自分より席次の低い人を見て安心せずに、常に上位の席次の人を見て焦るように意識してください。

最後に1人の先輩として皆さんの明るい進路を切に願っています。



就職を希望する後輩達へ

環境都市工学科5年 小野口 文華

私は、東日本旅客鉄道（JR東日本）から内定を頂きました。鉄道会社に就職することは中学生のころからの夢でしたので、働くことを今からとても待

ち遠しく感じております。就職を希望する学生のみさんの大半は、まだ働きたい業種や企業が決まっていなと思います。就職活動を重ねることによって絞られていくと思います。だからこそ、就職活動は早めに始めるべきです。

私が本格的に就職活動を始めたのは、昨年12月です。それ以前からある程度の心構えはしていましたが、就職活動が正式に解禁になる12月以降は合同説明会が多数開催され、それらに参加することによって実感を強めていきました。合同説明会で興味を持った企業で話を聞き、その企業の個別説明会に参加し、採用試験を受ける・・・というのが一般的な流れかと思われますが、企業によっては個別説明会に参加しないと採用試験が受けられないところもあります。面倒だと思われかもしれませんが、だからといって情報収集を怠るとどんどん道は狭まってしまいます。

採用試験は段階的に行われていきます。前半は筆記試験をやったりする場合がありますが、後半は面接がメインになります。面接では、志望動機、自己PRはほぼ必ず聞かれ、そのほかは時事問題、長所短所、学校で学んだことなどが聞かれます。ポイントは、聞かれそうな質問をすべてリストアップして、それらすべてに（軽くでもいいので）答えられるようになっておくことです。そうすれば、想定外の質問をされた時に対応がしやすくなります。

私は、1度留年経験があります。ですが、就職するにあたってはそんなの全く関係ありません。もちろん有利になるわけでも無いので、周りに流されず自分でどう動いていくかが重要だと実感しました。就職試験は入学試験とは違い、学力ではなく人間性での勝負になります。挫折しそうになっても途中で諦めたりはせず、未来の自分に向かって粘り強く突き進んでください。健闘を祈ります。

平成25年度進路状況一覧 平成25年11月現在

●進学予定状況

本科

進学・大学編入予定先	長岡高専専攻科	室蘭工業大学	東北大学	山形大学	千葉大学	横浜国立大学	電気通信大学	東京大学	東京工業大学	東京農工大学	新潟大学	筑波大学	長岡技術科学大学	富山大学	金沢大学	豊橋技術科学大学	京都工芸繊維大学	首都大学東京	新潟工科大学	金沢工業大学	合 計
機械	4			1	1			1	2	1	3	13		5	1	2				1	23
電気	6									1	1	1						1	1		20
制御	11	1	2				1			1	1	1					1	1	1		38
物質	8								2	2	7	1	14	1		1					36
環境	7				1	1					2		10			4					25
計	36	1	2	1	2	1	1	1	4	4	14	2	59	2	1	7	1	1	1	1	142

専攻科

進学予定先	長岡技術科学大学大学院	新潟大学大学院	金沢大学大学院	奈良先端科学技術大学院大学	首都大学東京大学院	合 計
電子機械	3	1		1		5
物質	1	1	1			3
環境	2				1	3
計	6	2	1	1	1	11

●就職内定企業等一覧

本科

○機械工学科

ツガミ、東京モノレール、リコーテクノシステムズ、理研精機、朝日酒造、三恵技研工業、山崎製パン、新潟日立、サントリアプロダクツ、アサヒプレジジョン、吉則螺子製作所、富士重工業、椿本チエイン、森永乳業、日本海洋掘削

○電気電子システム工学科

新潟日立、マコー、トクサイ、東北電力、種や、東プレ、日本トーカーパッケージ、黒部川電力、新潟原動機、クラレ、ミネベア、東京電力、第一電子産業

○電子制御工学科

東芝メディカルシステムズ、三恵技研工業、トライテック

○物質工学科

星光PMC、日揮触媒化成、東燃ゼネラル石油、メディスサイエンスプランニング、日東電工、クラレ、日本プチル

○環境都市工学科

東京水道サービス、日本道路、東京ガス、東日本旅客鉄道、ナンバ、東海旅客鉄道、植木組、エヌ・ティ・ティ・インフラネット、アミシング、エヌ・ティ・ティ・エムイー

専攻科

○電子機械システム工学専攻

トライテック、栄通信工業、ドコモエンジニアリング、クラレ、ユニオンツール、日本精機、ベルニクス、NS・コンピュータサービス、キヤノントッキ、日立産機システム

○物質工学専攻

トクサイ

○環境都市工学専攻

ネクスコ・エンジニアリング新潟、ジョンソンコントロールズ、東日本旅客鉄道、東北電力、本間組、大鉄工業



専攻科フォーラム2013を開催しました

平成25年7月5日(金)に本校441講義室にて専攻科フォーラム2013が行われ、専攻科生と来年度専攻科に進学する予定の本科5年生が80名参加しました。

特別講演は、専攻科第2回本校修了生の堀之内まい氏にお願いし、「先の事、万(よろず)井戸端会議」と題した進路相談も行っていました。また、就職・進学報告会も例年通り行われました。その後、アトリウム長岡に場所を移して活発なフリーディスカッションが行われました。

専攻科フォーラム2013 プログラム

開催日：平成25年7月5日(金)
場所：441講義室
時間：13時00分～15時50分

1. 専攻科長挨拶

2. 特別講演会

堀之内まい氏

(所属：一(はじめ)電機、専攻科第2回修了生)

講演題目：最近の若いモンへ ちょっと前の若いモンより



3. 先の事、万(よろず)井戸端会議 in 高専 回答者：堀之内まい氏

4. 就職・進学報告会

土田 祐介 君、村山 隼人 君、梅澤 将充 君、
板場 建太 君

5. フリーディスカッション

6. 閉会の辞

専攻科フォーラム2013

最後の専攻科フォーラム

物質工学専攻2年 村山 隼人



今年度の専攻科フォーラムの特別講演会は専攻科第2回修了生である堀之内様をお招きし、「最近の若いモンへ ちょっと前の若いモンより」という

題目で入社してからのいろはを教えてくださいました。来年度から会社の一員として働く予定である私にとって、こういったことが会社においてタブーなのか、そういったことを気遣えばよいのかを知れる良い機会でした。

就職・進学報告会では、私を含め4名の方が進路決定に至るまでの一連の流れを発表しましたが、私はとにかく、他3人の発表は非常に後輩のためになることだったのではないでしょうか。僕は若干の妥協を許してしまいましたが、後輩の皆さんは自分の希望に沿うような進路を目指して頑張ってください！



進学=人間力の育成

環境都市工学専攻2年 板場 建太



社会に出るまでの教育を受ける期間には人それぞれのものがある。私は本科生の時から明確な進路があり、大学院まで学習していこうと決めていた。

幼いころから現場で働く土木技術者を夢見ていて、それに必要なのは知識だけではなく、人と接することのできる能力であると父親を見ていつも感じていた。7年にも及ぶ高専生活の中でいろいろな学会や講演会を通じ、教授や企業の社長などから講話を拝聴した。その話の中で必ずと言ってよい程、人と接することの重要性、これを人間力と呼ぶが、このことについての内容があった。質問する機会があり、社会に出るときにどのような準備をしておけばよいかと尋ねたところ、人間力を養ってほしいとの回答があった。そして、これを学べるのも学生生活をしているときが一番重要であるとのことであった。夢の実現のため、志望大学の試験へ向けた勉強を死に物狂いで行った。当日はかなり専門的な内容の口頭試問などが出題されたが答えることができ、無事に合格することができた。これにより、私は学生生活を続けられることになった。このチャンスを活かし、自分の人間力を更に育成していこうと考えている。後輩の皆さんにも明確な目標を持っている人がいれば、是非進学を考えてみてはいかがだろうか。

学外学習報告



学外実習報告

電子機械システム工学専攻1年 宮路 尚輝

今回の学外実習では、株式会社ルネサスソリューションズの拠点の1つ、大阪半導体応用技術センターに「ソフト開発の実業務体験」と「私自身の研究の情報収集」の2つのテーマを設定し、2週間にわたり実習をさせて頂きました。実習の結果、「ソフト開発の実業務体験」では私が査読等を行ったドキュメントがルネサスのウェブ上で公開されました。「私自身の研究の情報収集」では研究で作成中のシステムの改善や更なる応用を行い、研究を飛躍的に進めることができました。

私は専攻科を修了したら就職を考えており、私の研究に深く縁のある職場を体験した結果、やはりシステム開発やソフト開発に大きな魅力を感じ、就職を考えるうえで良い経験を得られました。

.....



学外実習を終えて

物質工学専攻1年 宮川 駿人

私は、胎内市にある株式会社クラレ新潟事業所のPVA生産・技術開発部で、「PVA 酸度測定法の見直し」及び「酢酸中のホルムアルデヒド定量法の最適化」という2つのテーマを2週間に渡って実習させて頂きました。作業のほとんどは基礎的な化学分析や機器分析であり、高専で得た知識を十分に活用することができました。

実習では社員の方から様々なことを伺うことができましたが、その中でも最も強く印象に残ったのはコミュニケーションの重要性です。いくら勉強ができて、会話は疎か、挨拶すらできない人はどんな企業にも必要とされないと言われた方もいました。就職活動を間近に控えて、企業の方から貴重なお話を聞くことができたのは、非常に心強いです。この実習で得たことを今後の生活に活かせるよう努力していきます。

.....



学外実習報告

環境都市工学専攻1年 加藤 健太郎

私は、株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟の長岡試験室にて、2週間の学外実習をさせて頂きました。株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟は、新潟県を主な事業エリアとし、高速道路の維持管理を行っています。そのため、私は、トンネルや橋梁などの損傷状態を見学することができ、これら土木構造物の維持管理について学べるがたくさんあると

思い、この実習先を選択しました。実習内容は、私の目的を考慮していただき、橋梁やトンネルの見学およびコンクリート中に含まれる塩化物イオンの測定でした。

今回の学外実習では、多くの新たな知見が得られたとともに、特別研究などで学んだ知識を生かすことができましたと思います。短い実習期間でしたが、企業で働くという体験は、将来について考える良い機会となりました。

平成25年度 長岡高専専攻科進路ガイダンス1の開催

平成25年10月8日(火)に本校430講義室にて平成25年度長岡高専専攻科進路ガイダンス1が行われ、専攻科第1学年生と希望者が40名参加しました。

まず、5名の修了生から実体験とアドバイスをいただき、その後、グループに分かれてQ&A及び交流が行われ、自分の将来について迷いを持った専攻科生が真剣に質問をして、良いアドバイスをいただけていました。

平成25年度 長岡高専専攻科進路ガイダンス1 プログラム

開催日：平成25年10月8日(火)

場 所：430講義室

時 間：13時00分～15時30分

1. 挨拶及び講師の紹介

2. 先輩の実体験とアドバイス

- ・大太平洋特殊鑄造株式会社 大原 正康 氏
平成23年度修了、電子機械システム工学専攻(機械)
- ・TDKラムダ株式会社 斎藤 紘 氏
平成23年度修了、電子機械システム工学専攻(電気)
- ・日本精機株式会社 福嶋 祐一 氏
平成21年度修了、電子機械システム工学専攻(制御)
- ・株式会社クラレ 小池 惇平 氏
平成23年度修了、物質工学専攻
- ・ネクスコ・メンテナンス株式会社 西 信衛 氏
平成23年度修了、環境都市工学専攻



3. グループに分かれQ&A及び交流





部活動報告



平成25年度高等専門学校体育大会結果
地区大会・全国大会の上位入賞種目を紹介します。

■関東信越地区高等専門学校体育大会

開 催 種 目	競 技 結 果
野 球	3位
バ ド ミ ン ト ン	女子団体 優勝
	女子個人戦ダブルス 金井・岸 組 優勝
バ レ ー ボ ー ル	2位
ハ ン ド ボ ー ル	2位
柔 道	団体 2位
	男子個人戦60kg級 清水 隆 史 優勝
	男子個人戦90kg級 佐藤 峻 登 2位
	男子個人戦90kg超級 涌井 孝太郎 2位 品川 彰 2位
水 泳	総合 優勝
	女子200mフリーリレー (清水、川津、前内、石丸) 優勝
	男子200m自由形 武田 雅 平 3位
	男子400m自由形 大倉 真一希 2位
	岡 伸 哉 3位
	男子800m自由形 大倉 真一希 優勝
	岡 伸 哉 2位
	男子100m平泳ぎ 西木 航 優勝
	西山 真 史 3位
	男子200m平泳ぎ 西山 真 史 2位
陸 上	男子200mバタフライ 武田 雅 平 2位
	女子100m平泳ぎ 石丸 美穂 2位
	男子800m 平山 健太 3位
	男子三段跳 前田 一樹 優勝
	男子砲丸投 高畠 魁人 3位

■全国高等専門学校体育大会

開 催 種 目	結 果
陸 上	男子三段跳 前田 一樹 3位
バ ド ミ ン ト ン	女子個人戦ダブルス 金井・岸 組 3位
水 泳	女子200mフリーリレー (清水、川津、前内、石丸) 3位
	男子400m自由形 大倉 真一希 7位
	男子100m平泳ぎ 西木 航 7位

全国大会に出場して

物質工学科5年 金井 綾香

ダブルスでのペアの岸さんとは、地区大会が終わってからこれ以上にないくらいきつい練習を毎日しました。途中でじけそうになるときもありましたが、2人で支えあい乗り越えてきました。その成果もあって、本番では今までで一番いいプレーが出来ました。岸さんは私にとって最高のペアです。最後の高専大会で、全国に名前が載ったことは私の一生の誇りです。5年間本当に頑張って良かったです。応援してくれた皆さん、ありがとうございました。



今期の活動を振り返って

水泳部主将 機械工学科2年 吉野 拓弥

今シーズン1年間を振り返って一番強く印象に残っていることは、地区高専水泳大会で私たち長岡高専水泳部が総合優勝を成し遂げられたことです。私たちは大会に向けて、まず目標をたててそれで練習して練習して、そして大会本番で練習してきたものを出して総合優勝することができました。大会本番の時は、やはり練習してきた分の自信がもてて、すごく熱くなって応援にも力がはいり、1年分のふんばりがだせてよかったです。来年も地区大会での総合優勝を狙っていきたいです。



文化発表会を終えて

文化発表会実行委員長 物質工学科3年 梶原 優奈

夏休み中にアオーレ長岡で「第38回関東信越地区高専文化発表会 IN 長岡」を開催しました。文化発表会とは関東信越地区にある高専の文化部が集い、発表しあうイベントで、今年は6年ぶりに長岡高専が主催校でした。実行委員長として約1年間、多くのことを学びました。まず、学外の人との関わり方です。文化発表会ではアオーレ長岡を管轄する長岡市の職員の方を始め、学校外の方とのやり取りが多く、打ち合わせなど慣れないことに戸惑いもありましたが、自分に足りなかった知識を身に付けることができ勉強になりました。もうひとつは仲間との存在です。今回運営メンバーとして学生会役員や部長に声をかけ実行委員会を設置しました。文化発表会に初参加の役員もいましたが、私1人では出来ないことも役員の皆が支えてくれたおかげで無事成功させることができました。私はこの文化発表会で目には見えないものをたくさん得ることができ、やって良かったと心から思います。最後に文化発表会を開催するにあたりたくさんの助言をしてくださった先生方、役員の皆さん、その他関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



「支えあって人となる」

体育委員長 電子制御工学科3年 吉田 司

体育祭は何のためにやるのか。そんなことを考えながら、私は今年度の体育祭の企画を学生会の役員達と一緒にに行ってきました。その結論はやはり「楽しんでもらうため」でした。

体育祭の企画が始まったのは6月中旬。学生会内で手伝ってくれる人を募集し、そこで集まってくれた有志の役員十数人で4か月以上の時間をかけて構想をまとめてきました。時間の徹底化やより参加しやすい競技構成、そして何より楽しめるように昨年度の企画書の内容を修正したり、新規の企画を盛り込んだりしました。そのため作業は難航し、夜遅くまで残って学生会室で打合せを行い、休日の登校も数回行いました。今思い出せばいい思い出です。そして、初めは20ページ程度だった企画書も完成した時には2倍以上の厚さとなっていました。

企画書作りだけではなく、時には体をを使う仕事もしました。特にグラウンドの草取りは印象に残っています。例年、草取りは行っていませんでしたが、今年度は草の量が多いということで実施しました。その際、学生支援や体育科の先生、学生課の方や陸上部の学生など数多くの方々に手伝ってもらいました。本当に助かりました。

これらの活動の途中では役員を叱ったりしたこともありました。愚痴をこぼすこともありました。しかし、そ

んな中でも役員は文句一つ言わずに誠実に仕事をこなしてくれました。今となっては申し訳なかったです。

今年は残念ながら台風の影響で当日はあいにくの雨。体育祭の企画の中で雨天中止時にはクラスマッチを行うように決めていたのですが、流石にショックでした。しかし、役員や友人に励まされ、当日は気持ちを切り替えてクラスマッチの運営を行いました。そしてクラスマッチは問題もほとんど無く終えることが出来ました。当日の競技を行う学生の雰囲気は予想以上に良かったです。今まで目標としてきた「学生に楽しんでもらう」ということはできたのかなと思います。

こころを振り返ってみると私は1人では何もできないのだなと考えさせられます。誰かの支えがあってこそ、人間はやっていけるのだなと改めて深く実感しました。

今までお世話になりました皆さん、本当にありがとうございました。

今年度無念の中止となった体育祭は、来年は現在の体育副委員長が企画することになります。

今年度の企画書はまだ残っています。その企画をさらに大きく膨らまして欲しいと思います。来年の体育祭が楽しみです^^



オープンキャンパス 2013 報告

広報戦略室 入学対策部門長 高橋 章

8月10日(土)、11日(日)の2日間にわたり、オープンキャンパス2013を開催しました。両日とも晴天に恵まれ、気温が30℃を超える猛暑の中を、多くの中学生、保護者の皆さまからご参加いただき、無事終了することができました。2日間の参加者の延べ人数は、生徒462名、保護者319名、計781名で、昨年度に比べて約2割の増加となりました。

午前中は、参加者を2グループに分け、学校説明会と校内の施設見学を行いました。441講義室で行われた学校説明会では、ほぼ満員の聴衆を前に、学生会副会長(環境都市工学科4年 岩瀬崇宏、物質工学科4年 若月夕佳)、寮長(物質工学科4年 星啓佑、物質工学科4年 江部日南子)が学生生活や寮生活について紹介してくれました。

午後は、保護者向けの進学ガイダンスと、中学生向けの体験学習を実施しました。体験学習は、各専門学科が

2テーマずつ開講したほか、今年は初めての試みとして女子限定テーマも1テーマ開講しました。なお、2日間とも参加する中学生は、2日目の午前と午後にも体験学習を受講いただきました。体験学習においても、多くの学生が教職員のサポートをしていただいていたようです。

終了後のアンケートでは、中学生の86%が体験学習を「大変良かった」と評価していただきました。その他のプログラムについても、参加者のほぼ100%から「大変良かった」または「良かった」との評価が得られましたので、参加してくださった中学生や保護者の皆さまにはよい印象を残せたのではないかと思います。

オープンキャンパスの実施に協力していただいた学生、教職員の皆さま、大変ありがとうございました。



ながおかハイスクールガイダンス報告

広報戦略室 入学対策部門長 高橋 章

8月21日(水)にアオーレ長岡を会場として長岡市教育委員会が主催する「ながおかハイスクールガイダンス」が開催されました。市内の中学生と保護者を対象に、市内および近郊の高校、高専19校が出展し、午前、午後の2回に分けて学校紹介や体験学習を実施しました。総参加者数は中学生1100名、保護者300名とのことです。本校は学生会に所属する3年生7名による学校紹介ブースと、

ロボティクス部によるデモンストレーション、電子制御工学科5年生4名による体験ブースを出展し、多くの中学生、保護者に参加していただきました。



青少年のための科学の祭典出展

阿賀野大会（7月27日(土)、出展題目「入浴剤をつくろう!」）、燕・弥彦大会（9月7日(土)、8日(日)、出展題目「浮沈子を使った実験」）に出展しました。このようなイベントに今後も出展し、身近な科学に触れ、将来は長岡高専で学びたい!という長岡高専ファンが増えることを期待しています。



新任教職員紹介



長岡高専に赴任して

一般教育科 助教 **木村 博子**

2013年9月1日付で一般教育科の教員として赴任いたしました木村博子と申します。私は仙台で生まれ育ち、人生の大半の時間を仙台で過ごしてまいりました。地元の私立大学で修士課程を修了後、東北大学に移り、研究生生活を送ってまいりました。博士課程を修了後は、中学・高校・大学にて教育に携わりながら、東北大学専門研究員として充実した日々を送ってまいりました。

専門分野は、理論言語学です。とりわけ(1)に例示する省略現象に興味を持ち、研究を行ってまいりました。

- (1) John bought something, but I don't know what.
 (2) John bought something, but I don't know what [he bought]
 (1)と(2)の文は同じ意味を持ちますが、(1)では*he bought*という要素が省略されています。また、同様の省略現象は(3)に示すように日本語においても観察されます。

- (3)ジョンは何かを買ったらしいが、僕は何かを聞いていない。
 (4)ジョンは何かを買ったらしいが、僕は[彼が何を買った]か聞いていない。
 (3)の文は(4)の文と同じ意味を持ちますが、(3)では、「彼が買った」が省略されています。一見すると、繰り返されている要素が単に省略されているように見えますが、省略を行う際には一定の制限があります。どのような環境下で省略が許されるのか、また日本語と英語の当該の省略現象は同一のメカニズムで説明しうるのかどうかという問題の解明に努めてまいりました。

長岡高専では、英語の授業を担当させていただいております。先日、学生の皆さんの研究室を見て回る機会があり、放課後に研究を行うみなさんの姿をたくましく感じました。様々な分野の専門家となっていく学生の皆さんと触れ合うことで、私も大変良い刺激を受けております。教育者として未熟ではありますが、学生の皆さんと一緒に成長し、「進化する教師」でありつづけられるように努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

教育研究技術支援センター



細川 陽子

- 趣味 お買い物、バイオリン
- 抱負 これまで環境分析機関に勤務していましたが、このたびご縁があって技術職員として着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

学生課 教務・入試グループ(入試担当)



丸山 博之

- 趣味 テニス、高校・大学サッカー観戦&撮影
- 抱負 「こんにちは!」長岡技術科学大学から10月に異動してまいりました。以前にも高専に勤務していたことがあるのですが、当時との違いは、学生の皆さんが挨拶してくれることです!とても感激いたしました。校舎は新しくなりましたが高志台からの風景はとても懐かしいです。心機一転、また高専職員として精進したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

総務課 財務企画グループ



岡本 諒

- 趣味 身体を動かすこと
- 抱負 平成25年10月より、長岡技術科学大学総務部財務課予算係から異動してまいりました。不慣れな点も多いですが、早く仕事に慣れて、皆さんのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

学生課 学生支援グループ(学生支援担当)



磯部 泰子

- 趣味 読書
- 抱負 10月より長岡技術科学大学から赴任してまいりました。まだまだ至らない点も多いと思いますが、新たな場所で一から勉強するつもりで頑張ります。よろしくお願いいたします。

お詫び

学園だよりVol.179「名誉教授授与式」について、勤続年数に誤りがありましたのでここにお詫びし訂正いたします。誤：23年間 正：39年間